

幹本申2号「『第5回定期委員会』発言等に基づく申し入れ」について、団体交渉を行う！！(パート2)

4. 職場の声を把握し、駅詰所の新設・整備等の環境整備を行うこと。

① 東京駅ホーム下等に乗り継ぎ詰所を設置すること。

(会社) 意見として受け止めるが、改善策を見つけるのが難しい。

(組合) 引き続き必要な要求として出す。安全・健康・ゆとり限られた時間で息を抜く場面は重要。

② 仙台駅ホーム乗務員乗継詰所に温水器を設置すること。

(組合) 20年にも議論している。冬の冷たい水で手を洗う感覚を分かっているのか。

(会社) 予算の枠組みで動いている。意見は頂戴している。

5. 今夏に多発した空調故障の原因と対策を明らかにするとともに、空調故障時のお客様対応を確実にすること。

(会社) 空調故障、適切に乗務員がご案内する一方で、ご迷惑をかけている事もある。要員は様々あり、都度対応している。直らない状況が多かった。部品の取り換えは調達次第行った。予備品を増やすようにしているのが対策。

(組合) 空調故障頻発すると客室内に入っただけの対応が大変。原因究明していかないといけない。

6. 現行の荷物置場では収納しきれない状態が発生していることから、車両の新青森方にラゲッジスペースを増設すること。

(会社) 声は上がっている。車両改造して対策は少しずつ行っている。一方で荷物置場を増やせば収入も減る。バランスが重要。すぐに対応は難しい。

(組合) 年々荷物が大きくなってきている。声を聞きながら改善してほしい。

7. 働き方改革の推進に向け、社員の仕事・生活環境を考慮した柔軟な通勤手段を認めること。また、帰宅時も含めて輸送障害時の代替手段を確保すること。

(会社) 新幹線総合車両センターの個別具体的把握はしていない為、調べて回答する。

新幹線職場全体で働きやすい職場を 目指すために団結しよう！！